海外大学の出願エッセイ対策

海外大学を目指す高校生にとって、出願時の最も重要な書類の一つが「エッセイ（Essay）」です。
学力に加えて、あなたがどのような人で、どういった想いを持ち、何を学びたいのかを伝える「自己表現の場」でもあります。この記事では、海外大学出願におけるエッセイの役割やテーマ、準備のポイントなどを分かりやすく解説します。

【日本と海外の大学 出願方法の違い】

日本の大学入試は、大きく分けると学力試験のみで選抜を行う一般入試と、面接、志望理由書などによって選抜を行う推薦入試等があります。
一方、海外大学では学力試験のみで合否を決定することが一般的ではないところが特徴です。

海外の大学は、以下のような多面的な要素から出願者を評価します。

- 高校での３年間の成績（GPA）
- 英語能力試験（IELTS、TOEFL など）のスコア
- エッセイ（Personal Statement / College Essay）
- 推薦状（Recommendation Letter）
- 課外活動・ボランティア・受賞歴など

※国や大学、専攻によって、これら以外のものも活用される場合があります。

【海外大学のエッセイテーマにはどんなものがある？】

日本の推薦入試等で提出が求められる「志望理由書」は、主に「なぜこの大学を志望するのか」を説明するものです。
一方、海外大学の「エッセイ」は、「なぜこの大学を志望するのか」に加えて、「自分の人間性や経験」を伝えるものです。

大学によってテーマは様々ですが、代表的なものをいくつか紹介します。

- **“Tell us about a challenge you faced and how you overcame it.”**
  （あなたが直面した困難と、それをどう乗り越えたかを教えてください）
- **“What does success mean to you?”**
  （あなたにとって成功とは何ですか？）
- **“Describe an activity or experience that has been meaningful to you.”**
  （あなたにとって意味のある活動や経験について説明してください）
- **“Why do you want to study at our university?”**
  （なぜ本学で選びたいのですか？）

どのテーマにも共通して求められることは、「自分の考えを明確に、具体的に、感情を込めて表現する」ことです。

【エッセイの構成例及び合格者のエッセイサンプル】

エッセイの基本的な構成は、以下の例のようになります。大学を志望する理由だけではなく、自分の経験、考え、これまで生きてきた環境などを通して、「自分自身の本質」を表すことが非常に大切です。また、自分が大学に入学した場合、大学のためにどのように貢献できるのかを明確にし、「その大学に入学することでどのように貢献できるか」をアピールできるとより好ましいです。

1. フック（導入）
・読者を惹きつけるエピソードや印象的な一言
・自分の体験・価値観を印象づける言葉

2. 背景と成長
・自分が取り組んできたこと、学んだこと
・困難、挑戦から得た具体的な学び

3. 志望動機と目標
・その大学を志望する理由
・将来の夢・キャリアと、大学における学びとその成果のつながり

4. まとめ・印象付け

・もう一度自分の強み・情熱の強調
・読後に残る一言や未来への意気込み

以下は実際にアメリカ合衆国のイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校に合格した方のエッセイです。上の構成例を意識して書かれています。

〈下記のエッセイ指導を担当した教員からのコメント〉

良いエッセイを書くことができたポイントとしては、本受験生が中学高校の間にしっかりと準備を重ねていたことです。「自分」を表現するにあたり、英語の学習は当然ですが、様々な課外活動に取り組んでいました。そして、常に活動をした際には文章で成果や感想を言語化して残すようにしていました。このような取り組みを経た結果、内容の濃いエッセイを書くことができたと考えます。

本受験生は中高一貫校に通っていました。最初は英検５級を取るところから始めていたのですが、英語力を順調に伸ばし海外の名門大学に合格できるまでに成長できました。ここで分かることは元々英語ができるなどの特別なことは必要ではなく、努力や取り組みで良いエッセイを書き上げることができるということです。

出題されたテーマ：Describe your personal and/or career goals after graduating from UIUC and how your selected first-choice major will help you achieve them.

回答：When I presented a recycling business model to a top Japanese social entrepreneur, he kindly informed me that there is a hardship in making eco-products accessible to the average consumer. To get closer to the goal of making products more affordable and eco-friendly, I would acquire knowledge about sustainable business and resource management and analyze corporate sustainability in Illinois to ensure a win-win relationship between the environment and the corporate world.

My ultimate goal is to become a sustainability consultant to promote resource-recycling businesses which conserve natural resources and decrease the amount of plastic pollution. Courses at UIUC such as Tools for Sustainability will prepare me to introduce the apparel and food industries to recycled products made from unwanted plastics and resources, which are not widely repurposed in Japan.

〈日本語訳〉

出題されたテーマ：UIUC 卒業後のあなたの私生活又はキャリアの目標について説明し、選択した第一志望の専攻が、その目標達成に対してどのように役立つのか述べなさい。

回答（日本語訳）：
日本の著名な社会起業家の方に自分のリサイクル事業モデルを発表した際、「エコ製品を一般の消費者に普及させることには困難がある」と親切に教えていただきました。製品をより手頃で環境に優しいものに近づけるために、私はサステナブル・ビジネスや資源管理についての知識を身に付け、イリノイで企業のサステナビリティを分析し、環境と企業の双方に利益をもたらす関係を実現したいと考えています。

最終的な目標は、天然資源の保全とプラスチック汚染の削減を促進する資源循環型ビジネスを推進するサステナビリティ・コンサルタントになることです。UIUC で提供されている「Tools for Sustainability」などの授業を通して、日本ではまだ十分に再利用されていない不要なプラスチックや資源を活用し、アパレル業界や食品業界にリサイクル製品を導入できるよう準備を整えたいと考えています。

【高校時代にどんな経験をしておくと良い？】

エッセイに説得力を持たせるには、日々の経験が大きな財産になります。
海外大学が重視するのは「自分で考え、行動した経験」です。

例えば、以下のようなことが重視されます。

- 探究学習や自主研究
- 地域や社会への貢献活動（ボランティア・アルバイトなど）
- 興味分野に関連するプロジェクトや挑戦
- 短期・中長期での海外経験
- 日常の中での小さな気づきや変化と向き合い、自分の興味関心を見つけること　など

大切なのは、「結果」よりも「過程」です。
どんな経験から何を学び、どう成長したのかを言葉にできるようにしておきましょう。

【まとめ】

エッセイは、海外大学出願において最も「あなたらしさ」が伝わる大切な要素です。

海外大学での学びを目指す皆さん、まずは自分の経験を振り返り、「自分はどんな人間で、なぜこの道を選びたいのか」を自分の言葉で語ることから始めてみましょう。